

世界が進むチカラになる。



# 2023年度第3四半期 決算ハイライト

2024年2月5日

## キーメッセージ

- 2023年度第3四半期累計の業務純益は**15,202億円（前同比+1,387億円）**。  
稼ぐ力向上のモメンタムは継続、顧客部門の営業純益はMUBの売却影響を打ち返し、  
**前同比+2,900億円**
- 親会社株主四半期純利益は、業務純益の増益に加え、Morgan Stanleyの持分法適用  
決算期変更<sup>\*1</sup>や円安の影響等もあり、**12,979億円**。第3四半期累計としては過去最高益
- 2023年度通期目標の親会社株主純利益13,000億円とROE7.5%の超過達成を目指す

<sup>\*1</sup> 23年度よりMorgan Stanley（以降、MS）の持分法を適用する決算期を従来の1月-12月から4月-3月へ変更。当該変更に伴い、23年度1-3QはMSの23年1Q（2023年1月-3月）決算に基づく取込損益額（以降、「変更影響額」）772億円（為替等の影響で変動する可能性あり）を含む12か月間の損益を取込。23年度決算では15か月間の損益を取込予定

## 連結P/L

(億円)	22年度 1-3Q	23年度 1-3Q	増減	MUB評価損 調整後*1
1 業務粗利益 (信託勘定償却前)	35,798	① 36,191	392	-
2 資金利益	23,137	17,999	▲ 5,137	-
3 信託報酬 + 役務取引等利益	12,479	12,850	371	-
4 特定取引利益 + その他業務利益	181	5,340	5,159	-
5 うち国債等債券関係損益	▲ 5,723	▲ 1,970	3,753	-
6 営業費 (▲)	21,983	② 20,988	▲ 994	-
7 業務純益	13,815	15,202	1,387	-
8 与信関係費用総額	▲ 4,845	③ ▲ 2,636	2,208	▲ 2,215
9 株式等関係損益	2,031	2,274	243	-
10 株式等売却損益	2,160	2,331	170	-
11 株式等償却	▲ 129	▲ 56	73	-
12 持分法による投資損益	3,576	3,618	42	-
13 その他の臨時損益	▲ 6,088	④ ▲ 441	5,647	2,053
14 経常利益	8,489	18,018	9,529	1,511
15 特別損益	▲ 645	▲ 411	234	-
16 法人税等合計	▲ 3,815	▲ 4,072	▲ 256	-
17 親会社株主四半期純利益	3,431	⑤ 12,979	9,547	1,529
18 1株当たり利益 (円) (ご参考)	27.69	108.04	80.35	-
19 ROE (MUFG定義) *2	2.88%	9.99%	7.11%	-
20 ROE (東証定義) *2	2.72%	9.58%	6.87%	-
21 経費率	61.4%	② 57.9%	▲ 3.4%	-

### ① 業務粗利益

- 資金利益は、前年の投信解約益5,404億円の剥落やMUB売却の影響等があり前同比減収も、これらを除けば預貸金収益を中心に増収
- 海外の融資関連手数料や受託財産業務の手数料増加を主因に役務取引等利益が増収
- 主に前年に計上したポートフォリオ組替えに伴う国債等債券関係損益▲5,723億円の反動により、特定取引利益+その他業務利益は増収

### ② 営業費・経費率

- 営業費はMUB売却の影響もあり、前同比▲994億円減少
- 経費率は業務粗利益の増加に伴い57.9%と前同比▲3.4%

### ③ 与信関係費用総額

- 貸倒引当金繰入の増加や前年に計上した戻入の剥落等があるも、前年のMUB保有貸出金の評価損の反動により、前同比2,208億円の費用減少

### ④ その他の臨時損益

- 前年のMUB保有債券等の評価損の反動で、前同比+5,647億円

### ⑤ 親会社株主四半期純利益

- 前同比+9,547億円増益の12,979億円と、第3四半期累計としては過去最高益

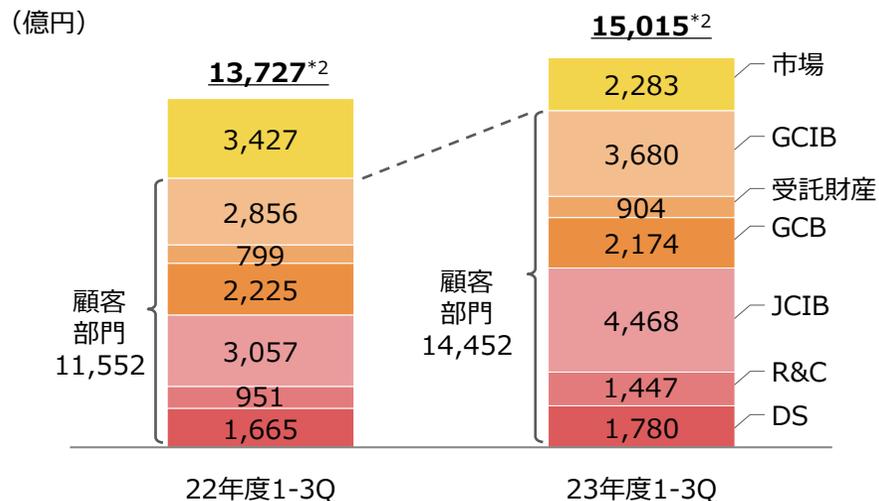
\*1 MUB保有資産の評価損等として22年度1-3Qに計上した9,860億円(税後)のうち、22年度決算で特別利益として戻入となった金額を調整。与信関係費用総額：4,424億円、その他臨時損益：3,593億円、経常利益：8,017億円、親会社株主四半期純利益：8,017億円

\*2 MSの持分法適用決算期の変更影響額除きでは、MUFG定義：9.4%、東証定義9.0% (23年度1-3Qの概算値)

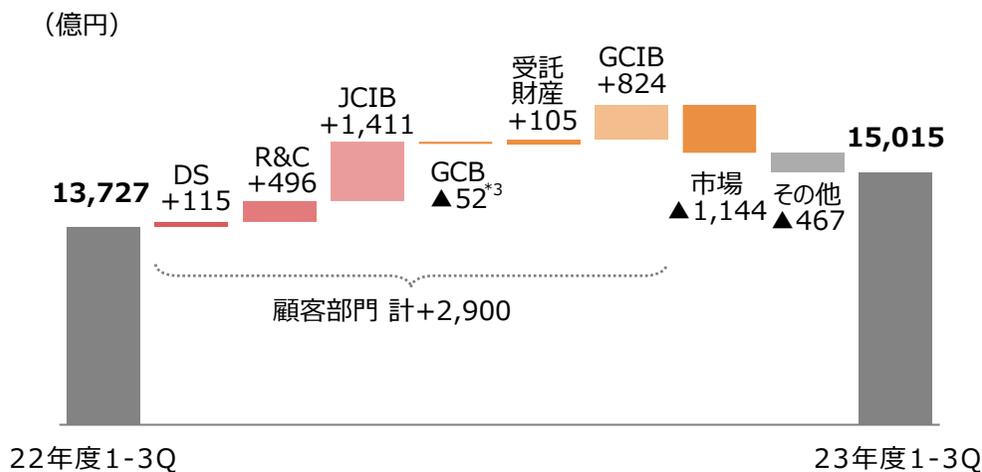
# 事業本部別業績 (1/2)

【連結】

## 事業本部別営業純益\*1



## 営業純益増減内訳



## 業績概要

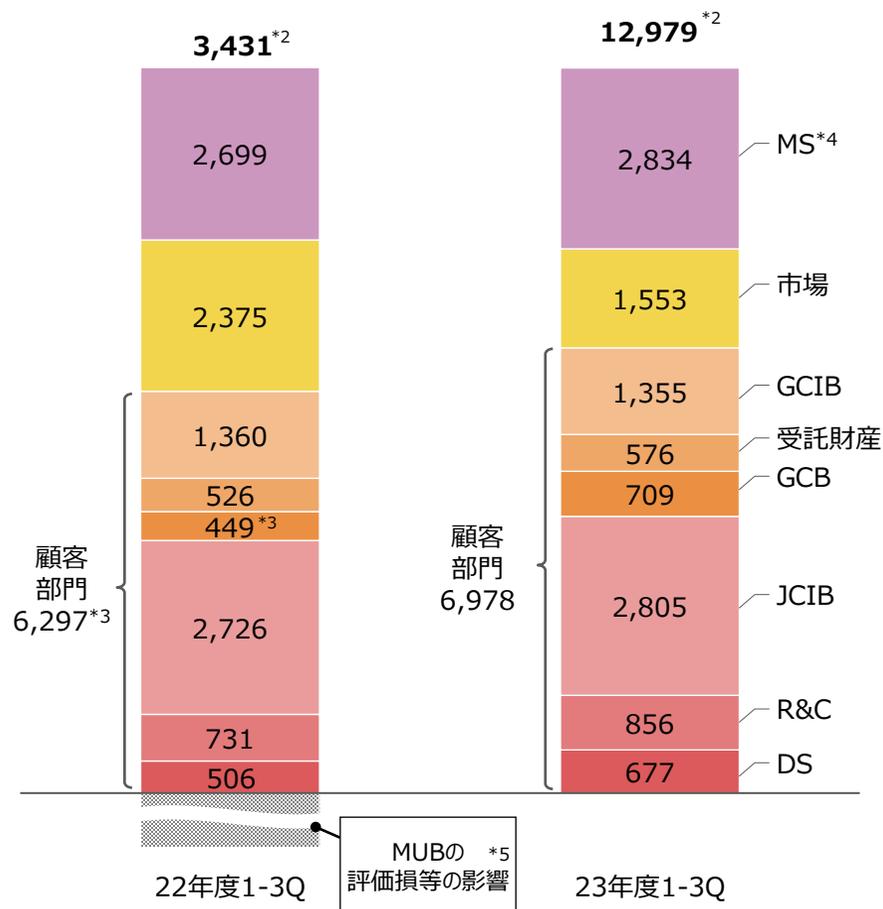
<b>DS</b>	コロナ禍からの経済回復に伴うCF*4の残高増加やカード決済の取扱高増加、金利上昇に伴う預金収益の増加等により増益
<b>R&amp;C</b>	海外金利上昇や利ざや改善による預貸金収益増加、株式市況回復を受けた資産運用収益増加、LBO*5を中心としたソリューション案件積上げ等で増益
<b>JCIB</b>	海外金利上昇や利ざや改善による国内外の預貸金収益増加や、株式市況回復を受けた証券プライマリー収益の増加等により増益
<b>GCB</b>	MUB株式譲渡の影響で全体では減益も、KS・BDIにおける貸出残高の積上げ、政策金利の上昇や利ざや改善による金利収益増加等により、実質増益
<b>受託財産</b>	グローバルIS*6をはじめ国内外での取引増加やFSIの成功報酬受領により、AlbaCore Capital Groupの買収等に伴う経費増を打ち返し増益
<b>GCIIB</b>	欧米のプロジェクトファイナンスやキャピタルマーケット等の堅調推移が手数料収益を牽引したほか、金利上昇や利ざや改善による貸出資金収益の増加等もあり増益
<b>市場</b>	顧客ビジネスは相場変動を捉え、着実にフロー取引を獲得。トレジャリーは海外金利上昇による外貨調達コストの増加を主因に、資金収益が減少。全体では減益

# 事業本部別業績 (2/2)

【連結】

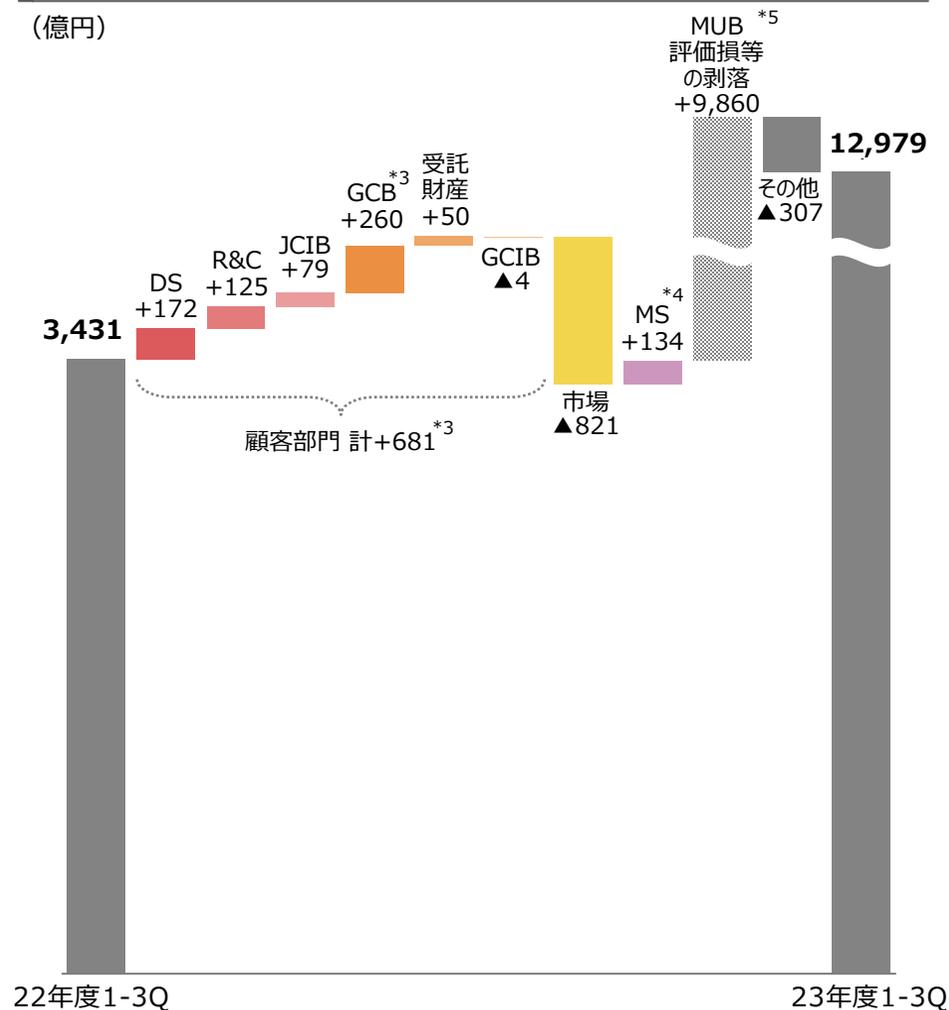
## 事業本部別当期純利益\*1

(億円)



## 当期純利益増減内訳

(億円)

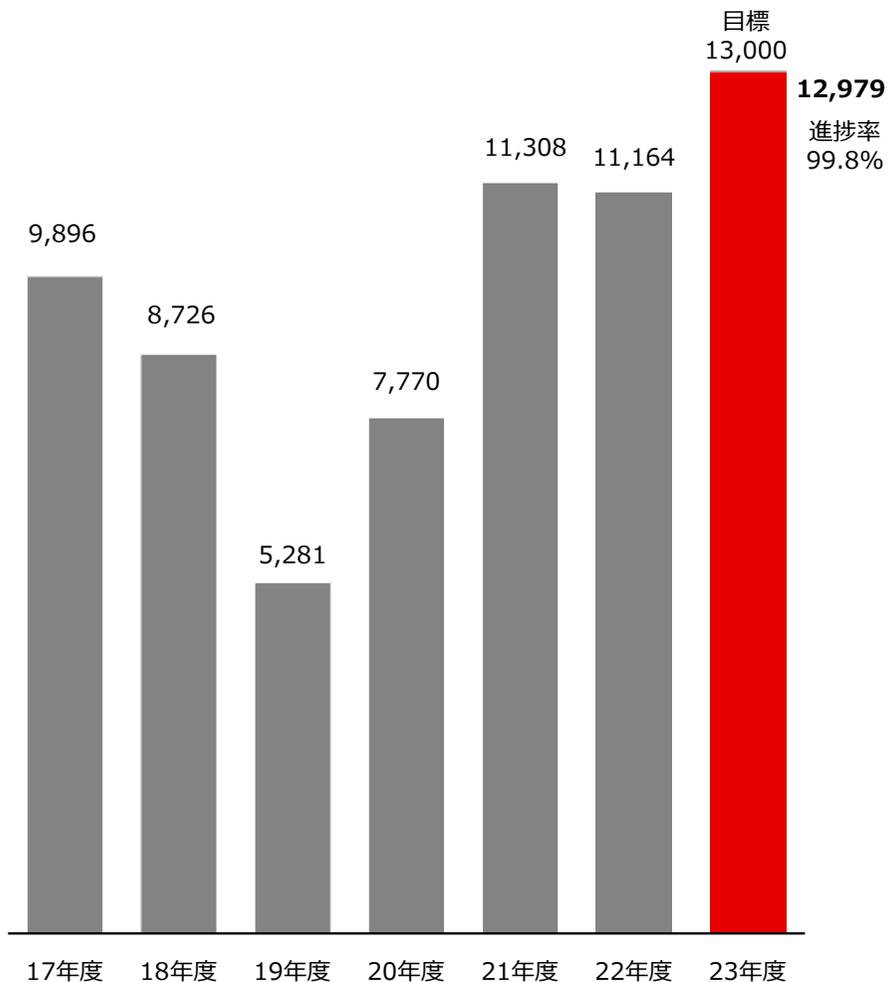


# 業績目標進捗率と業態別内訳

【連結】

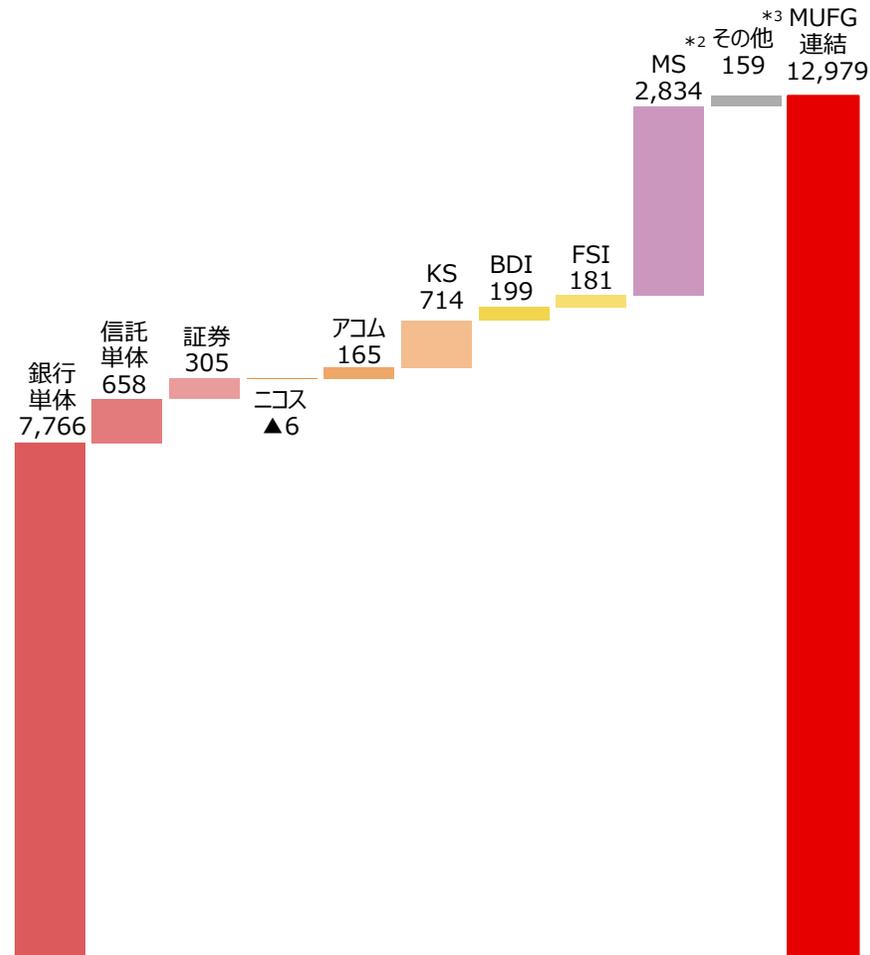
## 親会社株主純利益の推移

(億円)



## 親会社株主四半期純利益内訳\*1

(億円)



# B/Sの概要

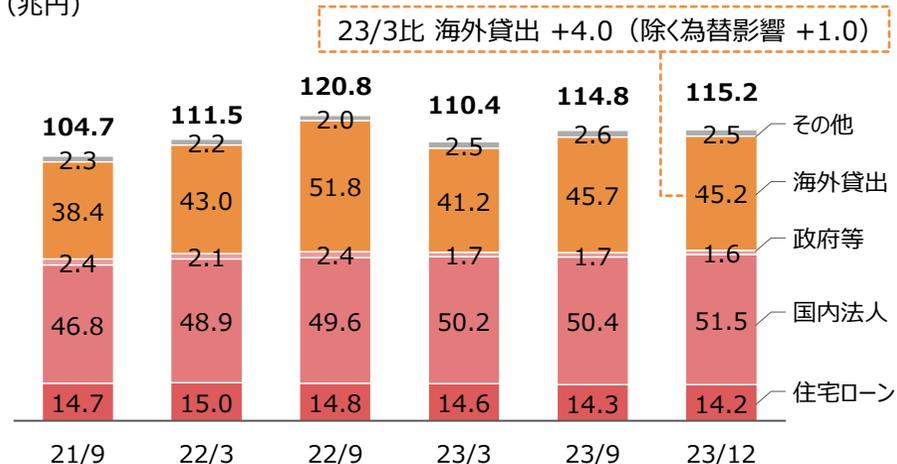
【連結】

## 連結B/S

(億円)	23年12月末	23年3月末比
1 資産の部合計	3,970,569	102,574
2 貸出金（銀行勘定+信託勘定）	1,152,788	48,546
3 貸出金（銀行勘定）	1,141,599	50,136
4 うち住宅ローン <sup>*1</sup>	142,463	▲3,860
5 うち国内法人貸出 <sup>*1*2</sup>	515,032	12,525
6 うち海外貸出 <sup>*3</sup>	452,922	40,642
7 有価証券（銀行勘定）	840,054	▲27,414
8 うち国内株式	55,646	4,162
9 うち国債	359,772	▲10,555
10 うち外国債券	242,380	▲13,854
11 負債の部合計	3,770,620	85,354
12 預金	2,162,575	26,480
13 うち個人預金（国内店） <sup>*4</sup>	932,495	23,949
14 うち法人等預金 <sup>*4</sup>	793,240	▲28,179
15 うち海外店その他子会社等預金	436,839	30,710
16 純資産の部合計	199,949	17,220
17 銀行法及び再生法に基づく債権 <sup>*5</sup>	15,970	336
18 不良債権比率	1.23%	▲0.03%
19 その他有価証券評価損益	20,649	6,447

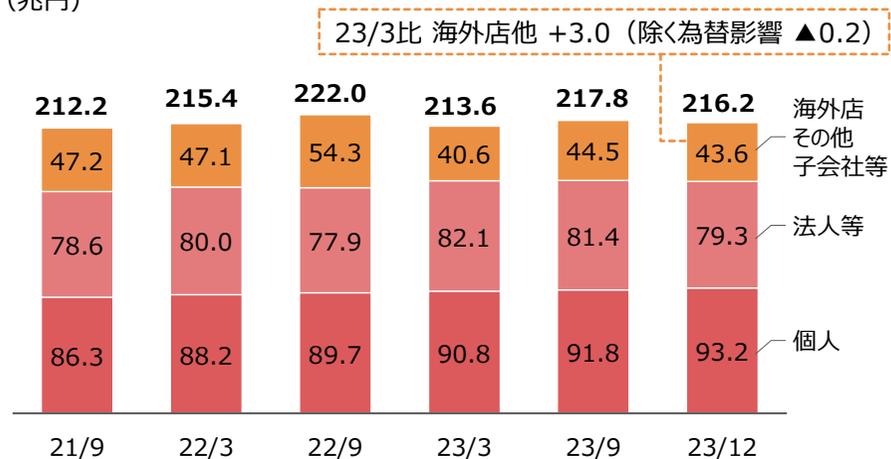
## 貸出金推移（末残）

(兆円)



## 預金推移（末残）

(兆円)



7

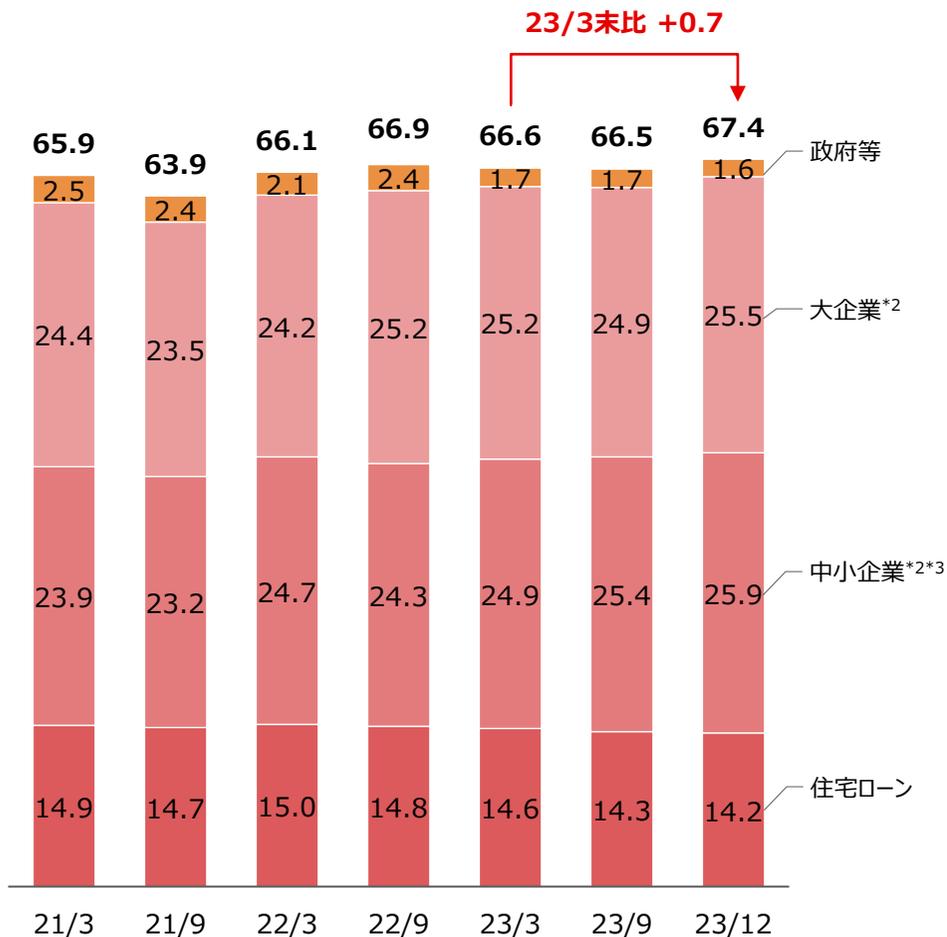
\*1 2行合算+信託勘定 \*2 政府等向け貸出除く、外貨建貸出を含む

\*3 海外支店+MUAH+KS+BDI+MUFGバンク（中国）+MUFGバンク（マレーシア）+MUFGバンク（ヨーロッパ） \*4 2行合算 \*5 正常債権を除く

# 国内貸出金

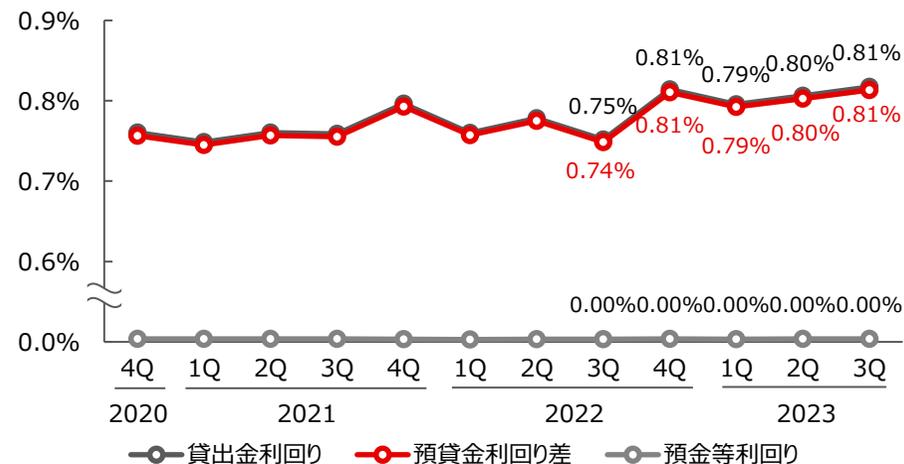
## 貸出金（未残）\*1

(兆円)

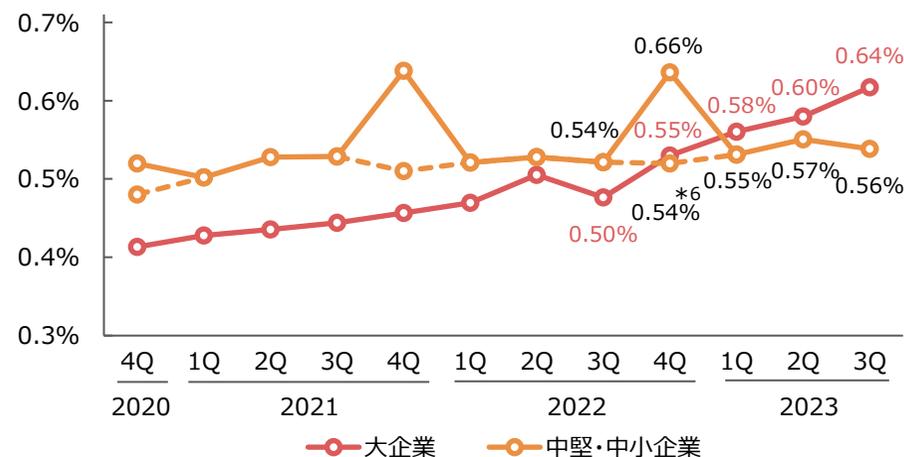


# 【連結・2行合算】

## 国内預貸金利回りの推移\*4



## 国内法人貸出利ざや\*2\*4\*5

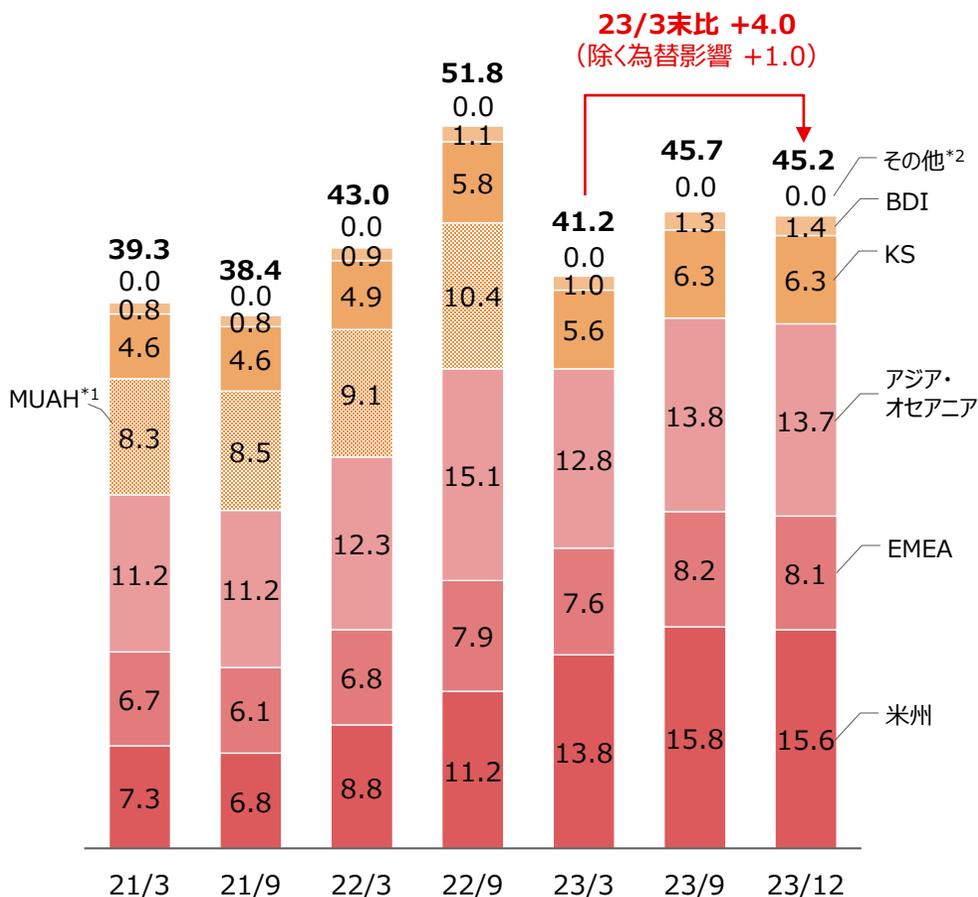


# 海外貸出金

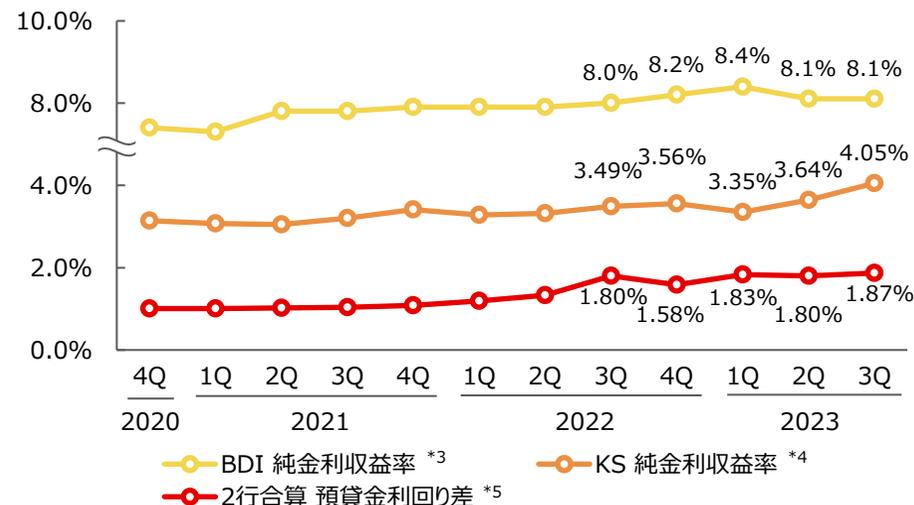
【連結・2行合算】

## 貸出金（未残）

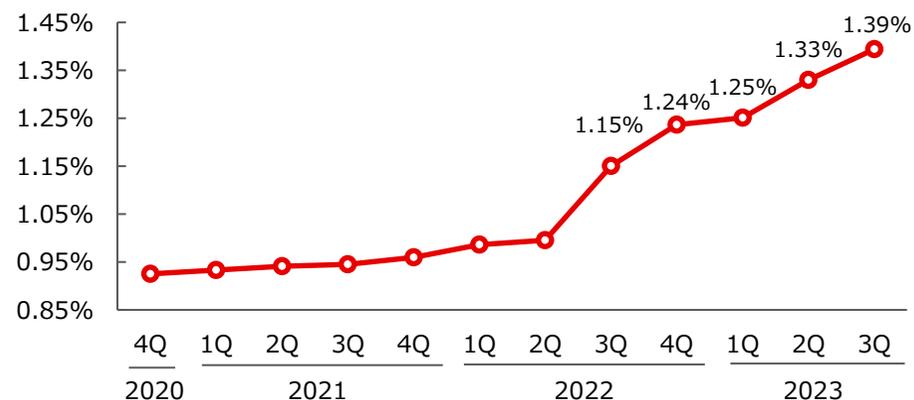
(兆円)



## 海外利回り等の推移



## 海外貸出利ざや\*5



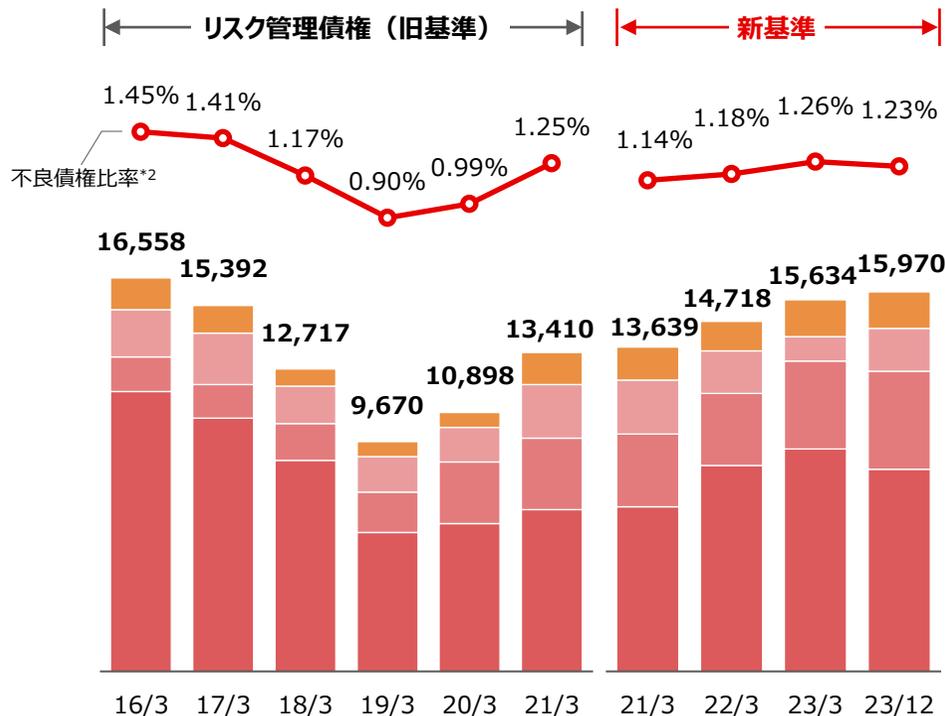
\*1 23/3期より「MUAH」は「米州」に含まれる。MUB株式譲渡に伴い2.7兆円（概算値）が海外店に移管  
 \*2 特別国際金融取引勘定等  
 \*3 インドネシア会計基準に基づくBDIの決算報告書における財務情報。2021年2Qより算出方法を変更し、本資料では過去分についても遡及修正  
 \*4 タイ会計基準（2020年1月1日よりTFRS 9を適用開始）に基づくKSの決算報告書における財務情報  
 \*5 社内管理上の計数。2行合算

# 貸出資産の状況

【連結】

## 銀行法及び再生法に基づく債権（正常債権を除く）\*1

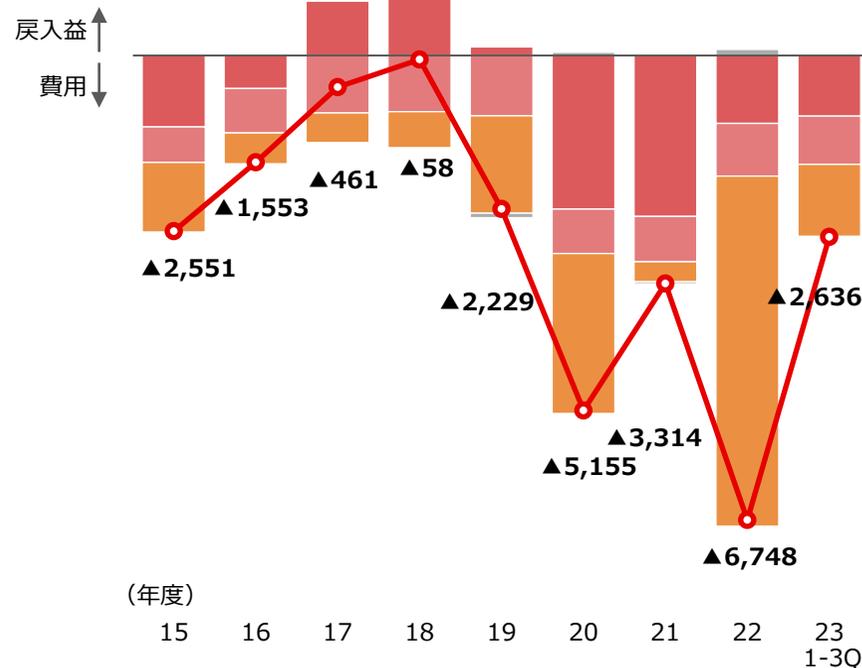
(億円)



内訳	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	21/3	22/3	23/3	23/12
EMEA	1,339	1,160	713	640	637	1,347	1,387	1,240	1,552	1,540
米州	1,994	2,160	1,575	1,482	1,455	2,247	2,267	1,781	1,021	1,799
アジア	1,453	1,423	1,558	1,703	2,591	3,005	3,058	3,029	3,702	4,126
国内	11,771	10,647	8,870	5,843	6,213	6,809	6,925	8,666	9,358	8,504

## 与信関係費用総額

(億円)



内訳	15	16	17	18	19	20	21	22	23 1-3Q
2行合算	▲1,037	▲479	795	1,298	126	▲2,232	▲2,338	▲988	▲880
CF*3	▲516	▲645	▲836	▲817	▲876	▲644	▲660	▲765	▲703
海外*4	▲1,008	▲450	▲427	▲523	▲1,416	▲2,323	▲289	▲5,083	▲1,046
その他*5	10	21	8	▲15	▲62	45	▲26	89	▲5

\*1 「リスク管理債権」の定義が「金融再生法開示債権」の定義と同一となったため、銀行法及び再生法に基づく債権として開示。地域は債務者の所在地による区分

\*2 銀行法及び再生法に基づく債権（正常債権を除く）残高 ÷ 銀行法及び再生法に基づく債権残高（旧基準はリスク管理債権残高 ÷ 貸出金残高（銀行勘定、未残））

\*3 ニコスとアコム連結ベース合算

\*4 銀行および信託の海外連結子会社の合算。子会社の決算日（2023年9月末）の財務諸表により連結している主要な在外子会社の23年4Q（2023年10月-12月）における与信関係費用総額は、現時点の見積もりでは、総額500億円程度発生する見込み。当該与信関係費用総額はMUFGの23年度4Qの連結財務諸表に反映される予定

\*5 その他子会社および連結調整等

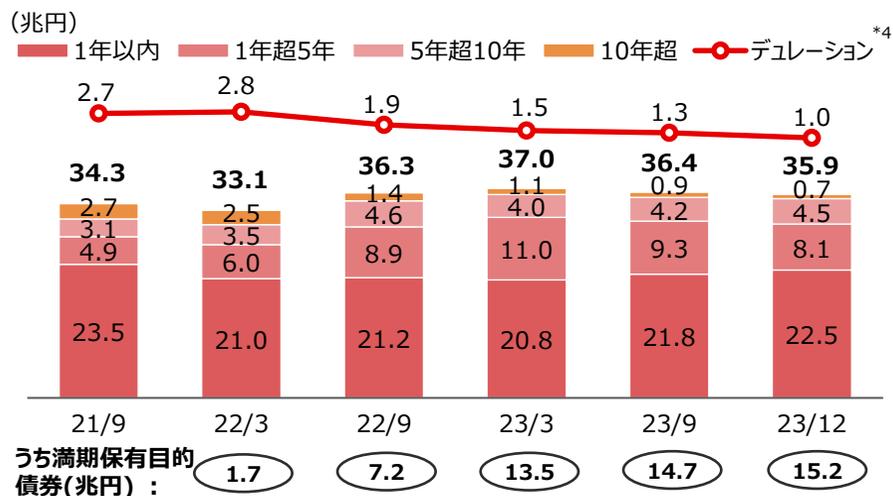
# 保有有価証券の状況

【連結・2行合算】

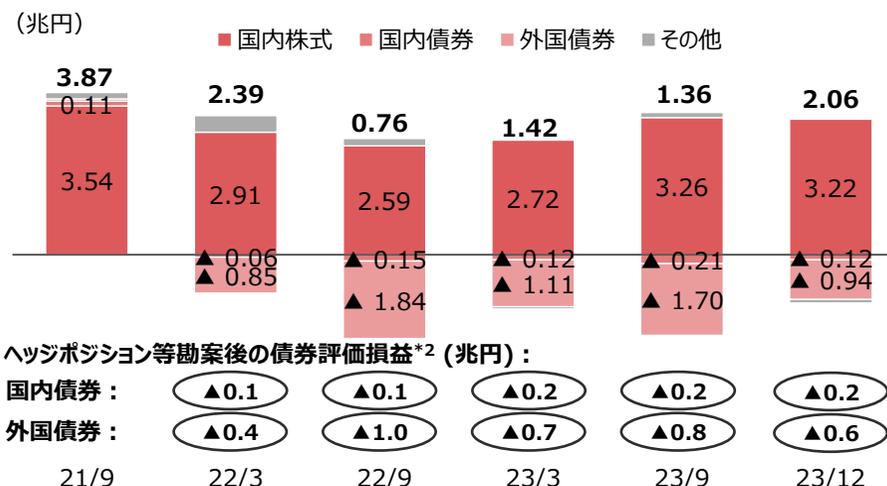
## 有価証券（時価あり）の内訳

(億円)	23年12月末残高		評価損益	
	23年3月末比	23年3月末比	23年3月末比	23年3月末比
1 満期保有目的	249,299	34,098	-	-
2 その他有価証券	591,207	▲60,003	20,649	6,447
3 国内株式	46,721	4,002	32,209	5,002
4 国内債券	247,281	▲50,237	▲1,272	▲72
5 うち国債	207,341	▲27,846	▲771	91
6 その他	297,204	▲13,767	▲10,286	1,518
7 うち外国株式	6,655	2,571	22	678
8 うち外国債券	196,917	▲20,184	▲9,473	1,688 <sup>*1</sup>
9 その他	93,632	3,844	▲835	▲848

## 国債の残存期間別残高（2行合算）<sup>\*3</sup>



## その他有価証券評価損益の推移



## 政策保有株式の売却実績（概数）<sup>\*5</sup>

(億円)	売却額	取得原価ベース	売却損益
1 15-20年度合計	15,450	8,700	6,750
2 21年度	4,700	1,690	3,010
3 22年度	4,250	1,540	2,710
4 <b>23年度 (1-3Q)</b>	<b>3,190</b>	<b>1,060</b>	<b>2,130</b>
5 21-23年度 売却目標	-	5,000	-
6 未売却の売却合意残高 <sup>*6</sup> (23/12末)	-	1,210	-

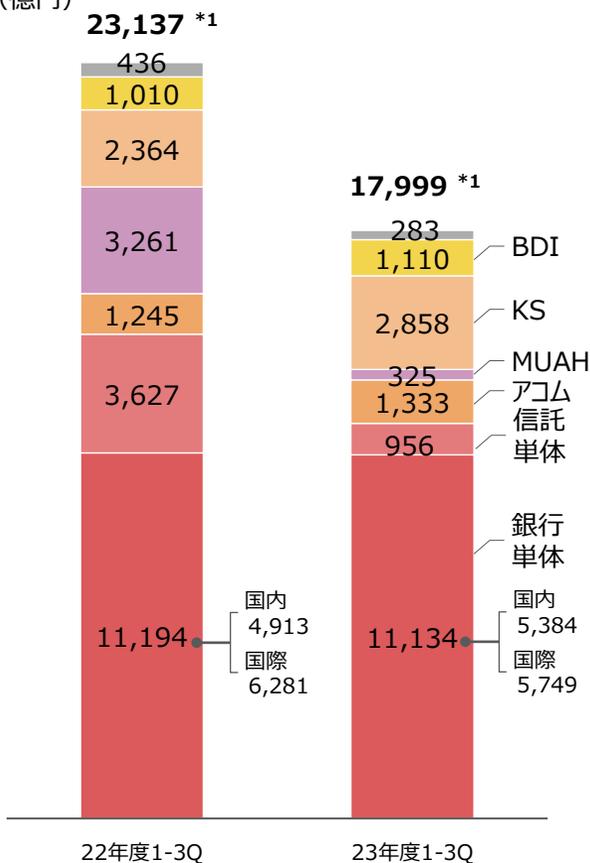
11 <sup>\*1</sup> 為替影響除きでは約+0.2兆円 <sup>\*2</sup> 社内管理上の計数。概算値 <sup>\*3</sup> その他有価証券および満期保有目的の国債 <sup>\*4</sup> その他有価証券。単位：年  
<sup>\*5</sup> 銀行・信託の単純合算 <sup>\*6</sup> 23年度までの売却予定分

# (ご参考) 業態別業務粗利益の内訳

【連結】

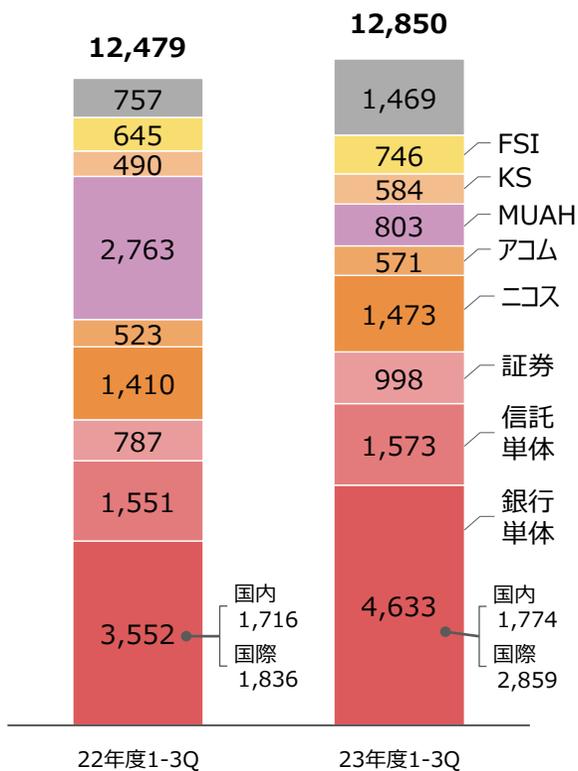
## 資金利益

(億円)



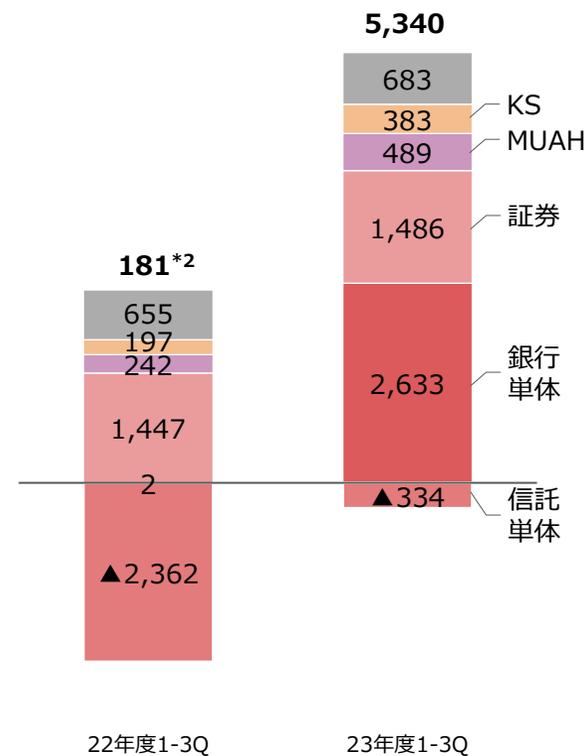
## 信託報酬+役務取引等利益

(億円)



## 特定取引利益+その他業務利益

(億円)



■ 銀行 (単体) ■ 信託 (単体) ■ 証券 ■ ニコス ■ アコム ■ MUAH ■ KS ■ BDI ■ FSI ■ その他\*

# ディスクレーム

本資料には、当社又は当社グループの業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標、計画等を策定するためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし前提（仮定）は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。

そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Reportをはじめとした当社の公表済みの各種資料の最新のものをご参照ください。

## 本資料における計数・表記の定義

- 業務粗利益： 信託勘定償却前連結業務粗利益
- 業務純益： 連結業務純益（一般貸倒引当金繰入前、信託勘定償却前）
- 親会社株主四半期純利益： 親会社株主に帰属する四半期純利益
- ROE（MUFG定義）：
$$\frac{\text{親会社株主四半期純利益} \div 3 \times 4}{\{ (\text{期首株主資本合計} + \text{期首為替換算調整勘定}) + (\text{期末株主資本合計} + \text{期末為替換算調整勘定}) \} \div 2}$$
- 与信関係費用総額： 与信関係費用（信託勘定）＋一般貸倒引当金繰入額＋与信関係費用（臨時損益）＋貸倒引当金戻入益＋偶発損失引当金戻入益（与信関連）＋償却債権取立益
- 連結：三菱UFJフィナンシャル・グループ（連結）
- 2行合算：三菱UFJ銀行（単体）と三菱UFJ信託銀行（単体）の単純合算
- DS：デジタルサービス事業本部
- R&C：法人・リテール事業本部
- JCIB：コーポレートバンキング事業本部
- GCB：グローバルコマースバンキング事業本部
- 受財：受託財産事業本部
- GCIB：グローバルCIB事業本部
- 市場：市場事業本部
- 銀行：三菱UFJ銀行
- 信託：三菱UFJ信託銀行
- 証券：三菱UFJ証券ホールディングス
- MUMSS：三菱UFJモルガン・スタンレー証券
- ニコス：三菱UFJニコス
- MUAH：米州MUFGホールディングス
- MUB：MUFGユニオンバンク
- KS：クルンシィ（アユタヤ銀行）
- BDI：ダナモン銀行
- FSI：First Sentier Investors
- MS：Morgan Stanley